

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(令和元年度事業分)

令和2年8月

枚方市教育委員会

目 次

1. 点検及び評価の趣旨	1
2. 点検及び評価の方法	
(1) 点検及び評価の対象	1
(2) 点検及び評価手順	1
(3) 評価基準	2
3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）	
(1) 評価結果の内訳	2
(2) 評価結果	4
4. 学識経験者の知見の活用	4
5. 点検評価員による総評	5
6. 令和元年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価	
基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実	6
基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	13
基本方策3 教職員の資質と指導力の向上	20
基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実	23
基本方策5 幼児教育の充実	25
基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進	28
基本方策7 学びのセーフティネットの構築	29
基本方策8 学びを支える教育環境の充実	37
基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実	43
基本方策10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進	48
その他の主要事業	53
7. 枚方市教育委員会の令和元年度の活動の概要	
(1) 令和元年度教育委員会定例会・臨時会について	55
(2) 令和元年度教育委員会協議会について	55
(3) 令和元年度教育委員会の活動状況	56

令和2年度 教育に関する事務の点検及び評価

1. 点検及び評価の趣旨

「教育に関する事務の点検及び評価」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行ったのでその結果を公表するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

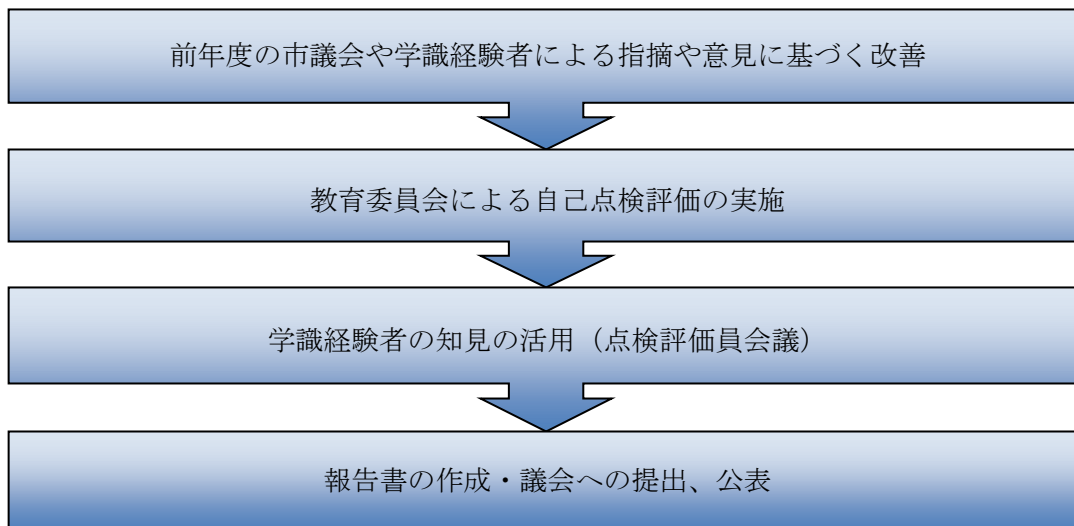
2. 点検及び評価の方法

（1）点検及び評価の対象

教育委員会の会議等の開催や活動状況等の確認を行うとともに、本市教育振興基本計画に掲げる教育目標「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく」を実現するための10の基本方策、基本方策を具体化する主要事業について、点検及び評価を行います。

（2）点検及び評価手順

令和元年度の点検及び評価は、次の手順で実施します。



(3) 評価基準

令和2年度から、以下のとおり「評価区分」について、より分かりやすい表現に見直すとともに、前年度からの評価区分の推移について矢印を付記することとしています。

評価区分	達成割合 (実績/目標)	内 容	評価区分 の推移	内 容
高い	100%以上	・事業が完了した場合 ・実績値が目標値以上となった場合	↗	・前年度の評価区分より高い区分となった場合
やや高い	80%以上 100%未満	・実績値と目標値が概ね同様の 場合	→	・前年度の評価区分と 同じ区分だった場合
やや低い	50%以上 80%未満	・課題があり、実績値が目標値 よりやや低い場合	↘	・前年度の評価区分より 低い区分となった場合
低い	50%未満	・課題が多く、実績値が目標値 より低い場合		

[参考]前年度の評価基準

評価区分	達成割合 (実績/目標)	内 容
達成	100%以上	・事業が完了した場合 ・実績値が目標値以上となった場合
概ね達成	80%以上 100%未満	・指標の目標値と実績値が概ね同様の 場合
未達成だがその方向に 進んでいる	50%以上 80%未満	・課題があり、実績値が目標値より やや低い場合
未達成	50%未満	・課題が多く、実績値が目標値より 低い場合

3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）

(1) 評価結果の内訳

基本方策	主要事業	評価区分	評価区分の推移
基本方策1	① 小中一貫教育推進事業	やや高い	→
	② 学校園活性化事業	高い	→
	③ 枚方市少人数学級充実事業	やや高い	→
	④ 学校ICT機器等整備業務	高い	→
	⑤ 多文化共生教育研究事業	高い	→
	⑥ 英語教育推進事業	※評価不能	
	⑦ 読書活動推進事業	やや高い	→
	⑧ 進路指導等事務	高い	→
	⑨ 学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	高い	→

基本方策 2	① 学校園健康管理事業	高い	→
	② 健康診断事業	やや高い	→
	③ 人権教育推進研究事業	高い	→
	④ 小中一貫教育推進事業【再掲】		
	⑤ 学校園活性化事業【再掲】		
	⑥ 学校給食における地元農産物利用促進事業	やや低い	↓
	⑦ 食物アレルギー対応推進事業	高い	→
	⑧ 文化財啓発普及事業	やや低い	→
	⑨ 野外活動センター利用促進事業	やや低い	↓
	⑩ 部活動指導協力者派遣事業	やや低い	→
	⑪ 学校支援社会人等指導者活用事業	やや高い	→
基本方策 3	① 枚方市教職員育成事業	やや高い	→
	② 授業の達人養成・教科研究事業	やや高い	→
	③ 学校園活性化事業【再掲】		
基本方策 4	① 支援教育推進事業	高い	→
	② 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	高い	→
	③ 枚方市教職員育成事業【再掲】		
基本方策 5	① 幼児教育充実事業	高い	→
	② 学校園活性化事業【再掲】		
	③ 学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】		
	④ 幼稚園保護者支援充実事業	高い	→
	⑤ 市立幼稚園における3歳児保育実施事業	やや高い	→
基本方策 6	① コミュニティ・スクール推進事業	高い	→
基本方策 7	① 小学校安全監視事業	高い	→
	② 通学路等安全対策事業	やや高い	↓
	③ 「心の教室相談員」配置事業	高い	↑
	④ スクールアドバイザー派遣事業	高い	→
	⑤ 教育相談事業	やや高い	→
	⑥ 生徒指導充実事業	高い	→
	⑦ いじめ問題対策事業	やや高い	→
	⑧ 不登校児童・生徒支援事業	やや高い	↑
	⑨ 適応指導教室事業	やや高い	↑
	⑩ スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	やや低い	↓
基本方策 8	① 学校園施設維持補修事業	高い	↑
	② 学校施設整備事業	高い	→
	③ 学校規模等適正化事業	低い	→
	④ 学校ICT機器等整備業務【再掲】		
	⑤ 校務の情報化推進事業	やや高い	→
	⑥ 学校給食事業	やや高い	→
	⑦ 中学校給食充実事業	やや低い	→
	⑧ 第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	やや低い	↓
基本方策 9	① 社会教育活動推進事業	やや高い	↓
	② 図書館資料購入事務	高い	→
	③ 香里ヶ丘図書館建替事業	高い	→
	④ 分館・分室巡回業務	高い	↑
	⑤ コンピュータシステム運営事業	やや高い	→

基本方策 9	⑥ 読書活動推進事業【再掲】		
	⑦ 中央図書館運営事業	やや高い	→
	⑧ 生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業	高い	→
基本方策 10	① 野外活動センター利用促進事業【再掲】		
	② 文化財啓発普及事業【再掲】		
	③ 文化財保護管理事業	高い	→
	④ 市指定文化財補助事業	高い	→
	⑤ 特別史跡百済時跡再整備事業	高い	→
	⑥ 市史編さん年報発行事務	高い	↑
	⑦ 市民スポーツカーニバル開催事業	やや高い	→
	⑧ 各種スポーツ大会等開催事業	高い	↑
	⑨ スポーツ推進事業	やや高い	↓
その他の 主要事業	1 児童の放課後対策事業	やや高い	↓
	2 留守家庭児童会室整備事業	高い	↑

※基本方策1の⑥英語教育推進事業については、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校のため評価不能としています。

(2) 評価結果

令和元年度の主要事業を評価基準により点検評価を行った結果は次のとおりです。

評価区分	主要事業数	評価区分の推移	主要事業数
高い	28 件	↑	8 件
やや高い	22 件	→	42 件
やや低い	7 件	↓	8 件
低い	1 件		
評価不能	1 件	評価不能	1 件
合 計	59 件	合 計	59 件

4. 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが行った点検及び評価の結果について、次の学識経験者3人を点検評価員として委嘱し、指摘や意見をいただきました。

- 委員長 和田 良彦（大阪教育大学 副学長）
- 委員 浦嶋 敏之（関西外国語大学 教授）
- 委員 木村 典嗣（税理士）

<点検評価員からの評価について>

点検評価員から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、枚方市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検に対して、意見・評価をいただきました。

評価期間	令和 2 年 7 月 13 日 ～ 令和 2 年 8 月 11 日
------	-----------------------------------

※新型コロナウイルス感染症対策の観点から、メールを活用した書面会議等により行いました。

5. 点検評価員による総評

本点検評価員会議は、枚方市教育委員会の「教育に関する事務の点検及び評価」の結果について「適正」とする。以下に、その理由を述べる。

本会議では、点検及び評価を行うにあたり、平成 28 年に策定した教育振興基本計画の基本方針に基づく各項目について、ヒアリング等を行った。

その結果、令和元年度主要事業については、幼児教育に関する事業を追加するなど、引き続き幅広い事業を展開していること。また、各事業について、昨年度の評価を踏まえた改善や内容の充実が図られていること。さらに、その結果について適切に自己点検評価がなされていること。以上のことが確認できたことから「適正」と判断した。

とりわけ今年度から評価基準について、【評価区分】の記述の見直しや、【評価区分の推移】の項目を新たに設け、達成レベルの経年変化の視点を加えたことで、より市民に分かりやすいものになったと考える。

また、本年に発生した新型コロナウイルス感染症を受けて、学校教育の重要性を改めて認識しつつ、従来どおりの学校教育を継続するだけでなく、「新たな生活様式」を踏まえた新しい学校教育の確立が望まれる。こうした社会的変化に適切に対応するために、安全安心を基本としながら、子どもを中心としたより柔軟な取り組みが行われることを期待する。

令和 2 年度には、教育振興基本計画が見直され、それに沿った取り組みが行われると聞いており、新たな計画に基づく、きめ細かな事業展開により、枚方市教育行政の更なる質的向上が図られることを期待する。

6. 令和元年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価

基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。

中学校区で共通の9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続など、「小中一貫教育」を推進する^①ことで、教職員の指導力や学校力の向上を図り、子どもたちの確かな学力と自立を育みます^②。

また、小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し^③、よりきめ細かな指導を実践するとともに、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業を推進します^④。

さらに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成する^⑥とともに、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、労働・職業について学び、自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します^⑧。

以上を効果的に進めることを土台として、今後、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育むため、学習指導要領の改訂を見据え、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習をさらに充実させるなど、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取り組みを進めます^⑨。

主要事業の状況

①	小中一貫教育推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	40,903
概要		実績			
	<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体として課題及び個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図る。</p> <p>また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進する。</p>				<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進した。</p> <p>研究指定校や学力向上担当者研修において、学識経験者による講義、指導助言によって、教員の授業力向上を図った。</p> <p>全国学力・学習状況調査については、問題分析・自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、教科会・学年会における授業研究において活用を図った。</p> <p>また、教職員の意識を高めるとともに、保護者に学力状況をわかりやすく公表することで家庭と連携した学習習慣の確立に努めた。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施した。その結果に基づいて体力向上推進計画を作成し、実践した。</p>

実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (目標値の根拠) 全国平均以上	実績値 (%)	[小学校] 国語A : 73.00 国語B : 56.00 算数A : 79.00 算数B : 46.00 [中学校] 国語A : 78.00 国語B : 73.00 数学A : 67.00 数学B : 50.00	[小学校] 国語A : 69.00 国語B : 53.00 算数A : 64.00 算数B : 52.00 [中学校] 国語A : 77.00 国語B : 62.00 数学A : 67.00 数学B : 49.00	[小学校] 国語 : 61.00 算数 : 68.00 [中学校] 国語 : 72.00 数学 : 60.00	
	目標値 (%)	[小学校] 国語A : 74.80 国語B : 57.50 算数A : 78.60 算数B : 45.90 [中学校] 国語A : 77.40 国語B : 72.20 数学A : 64.60 数学B : 48.10	[小学校] 国語A : 70.70 国語B : 54.70 算数A : 63.50 算数B : 51.50 [中学校] 国語A : 76.10 国語B : 61.20 数学A : 66.10 数学B : 46.90	[小学校] 国語 : 63.80 算数 : 66.60 [中学校] 国語 : 72.80 数学 : 59.80	
	達成割合 (%)	[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 97.40 算数A : 100.50 算数B : 100.20 [中学校] 国語A : 100.80 国語B : 101.10 数学A : 103.70 数学B : 104.00	[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 96.89 算数A : 100.79 算数B : 100.97 [中学校] 国語A : 101.18 国語B : 101.31 数学A : 101.36 数学B : 104.48	[小学校] 国語 : 95.61 算数 : 102.10 [中学校] 国語 : 98.90 数学 : 100.33	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価区分	やや高い
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画		区分の推移	→
	関連計画	—			

(【評価区分の内訳】小学校国語：やや高い、小学校算数：高い、中学校国語：やや高い、中学校数学：高い)
※点検評価に係る評価区分は、上記のうち最下位の評価区分を用いる。

②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	59,227
概要		実績			
◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。		◆全71校園が設定した研究主題に沿って校内研修等に取り組んだ。 公開授業は、70校園が実施した。(1校については、臨時休業等の対応により未実施) 菊咲かそう体験事業は4月1日から実施、小学校合同音楽会は6月11日～10月30日に全小学校が開催、小学生陸上競技大会は10月20日、小学生駅伝競走大会は11月16日に開催した。			

実績値及び目標の説明		年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童・生徒の肯定的な回答の割合 (目標値の根拠) 全国平均以上 ※上記の指標に、H30 年度より変更	実績値 (%)			小 : 79.00 中 : 83.30	小 : 76.70 中 : 78.90
	目標値 (%)			全国平均 小 : 77.70 中 : 76.30	全国平均 小 : 74.10 中 : 72.80
	達成割合 (%)			小 : 101.67 中 : 105.24	小 : 103.51 中 : 108.38
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価区分	高い
	市長公約	—			
	実行計画	—		区分の推移	→
	関連計画	—			

(【評価区分の内訳】小 : 高い、中 : 高い) ※点検評価に係る評価区分は、上記のうち最下位の評価区分を用いる。

③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	249,360
概要			実績		
◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施するため、学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施する。			◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5、6学年については40人で実施とするため、市費負担任期付職員の採用・配置に取り組んだ。		
実績値及び目標の説明		年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
①基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合 ②学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 ③保護者アンケートにおいて「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。」と回答した割合 (目標の根拠) ①対前年度比向上 ②対前年度比向上 ③90%以上 ※上記の指標に、H30 年度より変更 H29 年度実績値については、H30 年度の目標値とするため、記載している	実績値 (%)		①86.00 ②44.50 ③89.20	①86.60 ②48.50 ③89.30	①81.50 ②46.10 ③90.30
	目標値 (%)			①86.00 ②44.50 ③90%以上	①86.6 ②48.5 ③90%以上
	達成割合 (%)			①100.69 ②108.99 ③99.22	①94.11 ②95.05 ③100.33
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価区分	やや高い
	市長公約	平成30年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画		区分の推移	→
	関連計画	—			

(【評価区分の内訳】① : やや高い、② : やや高い、③高い)

※点検評価に係る評価区分は、上記のうち最下位の評価区分を用いる。

④	学校 I C T 機器等整備業務		担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	182,770
概要			実績			
<p>◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。</p> <p>◆ウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトを適正に更新し、情報セキュリティの確保を図る。</p> <p>◆令和元年度に更新を予定している授業用コンピュータについて、仕様の検討及び作成を行う。</p>			<p>◆令和元年9月に、中学校19校のコンピュータ教室のノート型コンピュータを更新した。</p> <p>◆令和元年9月から、新たに中学校16校にタブレット型コンピュータ各41台を導入、無線LAN機器を整備し、教員の授業におけるICT活用を推進するICT支援員の配置やアプリケーションの整備を行った。</p> <p>◆学校17校のサーバの更新や授業支援ソフトウェアなどの整備、教員の授業におけるICT機器等の活用を推進するため、人的サポート体制を拡充した。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
授業用コンピュータ1台あたりの児童・生徒数 (目標値の根拠) 実行計画に基づく平成30年度目標値			実績値 (人/台)	9.10	8.50	5.82
			目標値 (人/台)	9.10	9.10	6.90
			達成割合 (%)	100.00	106.59	115.65
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価 区分	高い		
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成29年度当初実行計画	区分の 推移	→		
	関連計画	—				

⑤	多文化共生教育研究事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	757
概要			実績			
<p>◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。</p>			<p>◆本市立学校における在日外国人教育・国際理解教育において、講演会・学習会等、様々な研究を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究委員会 ・サマースクール（7月20・21日 野外活動センター） ・北河内多言語進路ガイダンス（10月27日実施） ・ひらかた多文化フェスティバル ・多文化冬の集い（2月実施） ・研究推進活動（機関紙、集録の発行） 			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数 (目標値の根拠) 前年度実績			実績値 (人)	316	338	377
			目標値 (人)	345	316	338
			達成割合 (%)	91.59	106.96	111.54
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価 区分	高い		
	市長公約	—				
	実行計画	—	区分の 推移	→		
	関連計画	—				

⑥	英語教育推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	159,391	
概要		実績				
<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手 (NET)、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手 (JTE) を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を新たに配置するとともに、日本人英語教育指導助手 (JTE) を拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>英語の4技能(「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」)をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>		<p>◆全中学校に NET、全小学校に JTE を配置し、英語を使った体験的な学習を実施している。また、小学校に市独自で英語専科教員を昨年度に引き続き4名を配置するなど、小学校外国語活動の指導体制の充実を図った。</p> <p>◆全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用をした。</p> <p>◆関西外国語大学と連携し、留学生や教員を目指す大学生、本市の NET と交流しながら英語を使った体験的な活動を行う「枚方英語村」を実施(小学生対象:6月・12月実施・中学生対象:10月実施)し、小学生延べ220人・中学生62人が参加した。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童(小学校第3学年～第6学年)及び生徒(中学校第1学年～第3学年)の割合 (目標値の根拠) 児童の満足度90%以上 生徒の満足度85%以上		実績値 (%)	小:90.80 中:81.30	小:86.20 中:83.60	休業措置により 調査不能	
		目標値 (%)	小:90.00 中:85.00	小:90.00 中:85.00	小:90.00 中:85.00	
		達成割合 (%)	小:100.90 中:95.60	小:95.80 中:98.30	小:- 中:-	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	評価不能
	市長公約	平成30年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の推移	—
	関連計画	—				

⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	81,376
概要		実績			
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。また、中央図書館と連携して全中学校が参加する「ビブリオバトル」を実施する。</p>		<p>◆全中学校区に学校司書を配置し、児童・生徒の言語能力を育むために学校司書と司書教諭を中心に、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を推進している。</p> <p>本年度、市立図書館と連携して全小中学校の学校図書館の環境整備を完了した。引き続き、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進していく。</p> <p>中央図書館主催「中学生のビブリオバトル」については、新型コロナウイルス感染予防の観点から令和元年度については中止した。</p>			

実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合 (目標値の根拠) 対前年度5ポイント向上	実績値 (%)			小: 60.50 中: 46.80	小: 59.90 中: 47.30	小: 63.60 中: 42.80
	目標値 (%)			小: 63.30 中: 51.40	小: 66.30 中: 51.70	小: 64.90 中: 52.30
	達成割合 (%)			小: 95.58 中: 91.05	小: 90.35 中: 91.49	小: 98.00 中: 81.84
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	やや高い
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成26年度当初実行計画			区分の推移	→
	関連計画	—				

(【評価区分の内訳】小: やや高い、中: やや高い) ※点検評価に係る評価区分は、上記のうち最下位の評価区分を用いる。

⑧	進路指導等事務	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	8,515	
概要			実績			
<p>◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。</p> <p>◆直接働く人と接する職場体験学習などを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。</p>			<p>◆委託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることなどの説明会を令和元年(2019年)6月7日に開催した。</p> <p>◆目標設定や振り返りなどの事前学習及び事後学習を実施し、より充実した職場体験学習を実施した。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
職場体験学習における授業数の各校の平均値 (目標の根拠) 職場体験・インターンシップ実施状況等調査	実績値 (件)			13.37	13.95	12.16
	目標値 (件)			12	12	12
	達成割合 (%)			111.42	116.25	101.33
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	高い
	市長公約	—				
	実行計画	—			区分の推移	→
	関連計画	—				

⑨	学力向上推進事業(放課後自習教室事業)	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	60,006
概要			実績		
<p>◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている言語力育成や活用能力育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる環境を整備し、学力向上の取り組みを推進する。 また、放課後自習教室の開室方法及び児童・生徒の学習補助する「やる気リーダー」の配置を見直し、民間のノウハウを生かした学習支援員を試行的に導入し、児童・生徒の自主学習の学習支援を行う。</p>			<p>◆児童・生徒の学習意欲を高め、学力や自学自習力の向上を図るため、小学校では、放課後自習教室を各校平均73回開室、中学校では、民間委託による学習教室ひらかたスタディを各校25回開室し、児童・生徒の学習機会の充実を図った。</p>		

実績値及び目標の説明		年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	
放課後自習教室の実施回数 (目標値の根拠) 年間 80 日開室 (64 校) (R 1 年度は 45 校)	実績値 (回)		5,699	5,401	3,726	
	目標値 (回)		5,120	5,120	3,600	
	達成割合 (%)		111.31	105.49	103.5	
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分	高い
	市長公約	平成 28 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画			区分の 推移	→
	関連計画	—				

基本方策 1 に対する点検評価員による評価

確かな学びと自立を育む教育の充実としては、小・中学校において、授業充実の取り組みに関する事業だけでなく、放課後や進路指導などのさまざまな事業に取り組んでおり、おおむね順調に推進できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

②学校園活性化事業については、指標から授業改善が進んでいる様子がうかがえるので、今後も児童・生徒が授業をとおして自分の考えを深めていくことができる取り組みの推進に期待する。

③枚方市少人数学級充実事業については、人材確保に工夫をするなど、引き続き円滑な事業実施に努めていただきたい。

④学校 ICT 機器等整備事業については、着実に整備が進んでいると感じる。オンライン授業も可能な環境整備を進めているとのことであり、今後の感染症などの危機事象への対策に期待する。

⑤多文化共生教育研究事業については、ますますニーズが高まっていると感じるので、引き続き事業の充実に取り組んでいただきたい。

⑦読書活動推進事業については、全国的に中学生の読書時間が減少しているとのことだが、市としての原因の分析と読書習慣につながる取り組みの充実を検討していただきたい。

⑧進路指導等事務については、毎年度、委託事業について説明会を開催が取り組み実績となっているが、アウトリーチ型の相談活動や、キャリアパスポートの取り組みなど、様々な工夫に期待する。

⑨学力向上推進事業（放課後自習教室事業）については、子どもたちの学力向上のため、今後も粘り強く取り組みを推進していただきたい。

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

道徳教育・人権教育などを通じて、規範意識を培い公共の精神と自らを律する力を育むとともに、自他の生命や平和を大切にする心を養い、子どもたちが豊かな人間性を身につけるための教育を充実させます^{①②③④⑤}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加など、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^⑥や、食物アレルギーへの対応など安全で安心な学校給食を提供し^⑦、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{①②③④⑤}。

さらに、心身を鍛錬し、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑧や、自然を生かした野外活動など、体験活動を拡充させる^⑨とともに、部活動の充実を進めます^⑩。このため、外部指導者など多様な社会人の活用を図ります^⑪。

主要事業の状況

①	学校園健康管理事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	136,107	
概要		実績				
◆学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、腎臓検診医、歯科衛生士による幼稚園7園、小学校45校、中学校19校で内科、歯科検診などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施している。		◆全学校園を対象に内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校園医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質、照度の検査等を行った。また、歯科衛生士によるブラッシング指導を幼稚園では4・5歳児、小学校では各小学校で学年を決めて春に20校園、秋に32校行った。健康相談は、専門的な観点な立場から学校及び児童・生徒の支援を行った。				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
学校内科医1人あたりの幼児児童生徒数 (目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		実績値 (人)	314	309	305	
		目標値 (人)	330	330	330	
		達成割合 (%)	104.85	106.36	107.58	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	高い
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	→
	関連計画	—				

②	健康診断事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	41,405	
概要		実績				
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。		◆結核検診(全児童・生徒)、尿検査(全幼児・児童・生徒)、心臓検診(小学校第1学年・中学校第1学年)、耳鼻科検診(小学校第1・3学年・中学校第1学年)及び眼科検診(全幼児・児童・生徒)を行った。脊柱側弯(モアレ)検診(小学校第5学年・中学校第1学年)は10～11月に実施した。 総受診者数：31,167人 総対象者数：31,259人				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
健康診断受診率 (目標値の根拠) 対象者全員		実績値 (%)	99.65	99.70	99.71	
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
		達成割合 (%)	99.65	99.70	99.71	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分	やや高い
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の 推移	→
	関連計画	—				

③	人権教育推進研究事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	2,097
概要		実績			
◆学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。		◆本市立学校における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図っている。 ・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会(年5回 4月10日、7月29日、11月8日、1月22日開催。 3月26日は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。) ・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム(7月6日開催) ・大阪府人権教育夏季研究大会(8月21・22日実施) ・枚方市人権教育研究協議会講演会(10月9日実施) ・大阪府人権教育研究泉南大会(10月25・26日実施) ・実践報告会(年2回11月26日、2月5日開催) ・全国人権・同和教育研究大会(11月30日・12月1日実施) ・大阪府人権教育・人権・部落問題学習研究集会(1月11日実施)			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
大阪府人権教育研究協議会等による人権教育 推進のための教職員研修会等への参加人数 (目標値の根拠) 前年度実績		実績値 (人)	534	562	577
		目標値 (人)	339	534	562
		達成割合 (%)	157.52	105.24	102.67

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	高い
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の推移	→
	関連計画	—		

④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-------------------------	-----	-------

⑤	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
---	-----------------------	-----	-------------------

⑥	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	802	
		概要		実績		
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取り組みを進める。		◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて21品目で39.4トン、うち枚方産は20品目25.9トン(玉ねぎ、えんどう豆、黒米、じゃがいも、かぼちゃ、なす、冬瓜、さつまいも、大根、キャベツ、白菜、ハウレン草、チンゲンサイ、九条ネギ、小松菜、人参、金時人参、れんこん、里芋、青葱)を使用している。また、米については、北河内産米を含む大阪産「ヒノヒカリ」を148.8トン使用した。以上の結果、平成31年4月～令和2年3月の枚方産及び府内産購入量の割合は28.2%となっている。(米については、平成30年度の大阪府産米の収穫量が少なく、当初使用予定の79.1%程度の使用となった)				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
地元農産物の割合 (目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の目標		実績値(%)	32.50	32.30	28.20	
		目標値(%)	30.00	38.00	38.00	
		達成割合(%)	108.33	85.00	74.21	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	やや低い
	市長公約	—				
	実行計画	—			区分の推移	↓
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画				

⑦	食物アレルギー対応推進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	2,405
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆食物アレルギー対応の適切かつ確かな取り組みを進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆学校給食においては、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」に基づき食物アレルギー対応を実施している。 ◆中学校給食においては、毎日7大アレルゲンを使用しない給食の提供を行った。小学校給食においては、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた統一の対応を実施している。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行い、教育委員会内での情報共有を行った。 			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数			実績値(件)	0	0	0
(目標値の根拠)			目標値(件)	0	0	0
アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと。			達成割合(%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	高い
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	→
	関連計画	—				

⑧	文化財啓発普及事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	15,924
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー(市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施) ◆歴史講座、歴史ウォーク(市内文化財めぐり等) ◆枚方・百済フェスティバル(毎年5月に開催する古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント) ◆文化財の展示(輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物を展示) ◆ジュニア文化財学級、市民歴史講座等の開催(弥生時代の竪穴住居等の模型作成など体験型イベント) ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物(文化財関係図書等)の発行など ◆出前講座 			<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の建替を2ヶ所、修繕を2ヶ所行った。 ◆文化財防火デーの消防訓練については、消防組合と協議し、片笠神社で実施した。 ◆歴史講座は「戦時下の大阪一枚方の戦争遺跡を中心に」をテーマに実施した(4回実施)。また、生涯学習広域講座「聞く・見る・歩く北河内パート20」を10月に開催し、親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊一枚方宿を歩こう」を11月に開催した。 ◆枚方・百済フェスティバルを5月18日に開催した。 ◆発掘調査の成果をもとに文化財展示会「ひらかたの歴史～発掘調査成果から～」を輝きプラザきらら展示ルームで開催(4月22日～9月1日)。企画展「交北城の山遺跡―穂谷川左岸の複合遺跡―」を開催(10月15日～3月3日)。 ◆文化財だよりを7月・10月・1月・4月に発行。 ◆「禁野火薬庫爆発遭難手記」を発行(800円で頒布)。 ◆出前講座については20回実施した。 			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
歴史関連イベントの参加者数			実績値(人)	1,217	926	810
(目標値の根拠)			目標値(人)	1,200	1,200	1,200
過去のイベントの参加者数の平均値を目標値とする。			達成割合(%)	101.42	77.17	67.50

関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価区分	やや低い
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の推移	→
	関連計画	—		

⑨	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	11,396
概要		実績			
◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。）		◆学校キャンプ支援事業は、小学校15校の利用があった。また、中学校についても5校の利用があった。事業の1つとして、送迎用バスの借り上げを行っている。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
市内小学校のキャンプ利用件数 (目標値の根拠) 昨年度実績又は直近3年の平均のどちらか多い数		実績値(件)	25	22	15
		目標値(件)	27	25	22
		達成割合(%)	92.59	88.00	68.18
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	やや低い	
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	↓	
	関連計画	—			

⑩	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	16,804
概要		実績			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。		◆各中学校からの要請に基づいて専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の充実と顧問教員の時間的余裕の確保を図った。 派遣中学校数 19校 部活動指導協力者 112名			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
中学校部活動指導協力者の派遣回数 (目標値の根拠) 派遣回数の上限（1校あたり370回）		実績値(回)	5,873	5,553	5,029.5
		目標値(回)	7,030	7,030	7,030
		達成割合(%)	83.54	78.99	71.54

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや低い
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→
	関連計画	—		

⑪	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	13,770
概要		実績			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。		◆学校支援社会人等指導者により、各教科における指導補助（音楽科における和楽器指導、総合的な学習の時間や算数科におけるICTの活用等）や読み聞かせ、菊の栽培に関する指導等を実施し、教育活動の活性化を図った。学校支援社会人等指導者登録者数 296人			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
学校支援社会人等指導者を活用した回数 (目標値の根拠) 活用回数の上限(1校園あたり約22回)		実績値(回)	1,603	1,489	1,696
		目標値(回)	1,640	1,640	1,704
		達成割合(%)	97.74	90.79	99.53
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや高い	
	市長公約	—			
	実行計画	—	区分の推移	→	
	関連計画	—			

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑥ 学校給食における地元農産物利用促進事業	精米について、台風等の影響により平成30年度の大阪府産米の収穫量が少なく、当初使用を予定していた精米量の79.1%程度の使用に留まり、未達成となった。	“今後、生産者の高齢化や天候による不作等、生産規模の縮小が懸念される。精米を大阪産1品種（ヒノヒカリ）に限定せず、別品種（にこまる等）も組み合わせ使用する、野菜類の利用品種を増やす等、引続き北河内農業協同組合と調整し、地元農作物の利用促進を行う。”
⑧ 文化財啓発普及事業	平成29年度は市政70周年にあたり、記念事業として実施した枚方歴史フォーラム「百済王氏とその時代」が好評であったが、各年度の実施内容により、参加者数に差異が出ている。	本事業については、取り扱うテーマ（時代や文化など）によっても参加者数に差異が生じることから、今後も多くの方に参加いただけるよう、テーマの設定等に工夫をしていきたい。
⑨ 野外活動センター利用促進事業	学校行事としてのキャンプニーズの低下に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予約のキャンセルが増加した。	今年度設置された東部地域活性化プロジェクトチームでの議論を踏まえ、野外活動センターの利活用について改めて検討する。

⑩	部活動指導協力者派遣事業	<p>降雨等により部活動や各種大会が中止になり、指導協力者派遣が不要となったこと等によるもの。</p> <p>なお、令和元年度においては、新型コロナウイルス感染拡大に起因する学校休業による部活動休止も要因である。</p>	<p>指導協力者派遣総数（370回/校）の見直し等を行う。</p>
---	--------------	--	-----------------------------------

基本方策2に対する点検評価員による評価

<p>豊かな心と健やかな体を育む教育の充実としては、一部の事業で新型コロナウイルスや台風の影響で実績が落ち込んだものの、子どもの健康に関する事業や人権に対する意識向上のための研修など、各事業に適切に取り組んでいる。</p> <p>各事業についての意見は、下記のとおりである。</p> <p>③人権教育推進事業については、新型コロナウイルスの影響により中止になった研修があったが、参加者は増加しており、さらにニーズが高まっていると考えられる。</p> <p>⑦食物アレルギー対応推進事業については、事故ゼロを継続していることに敬意を表す。命にかかわる事業であり、今後も「ヒヤリハット」などの教訓を生かし、引き続き緩みなく取り組まれるよう期待する。</p> <p>⑨野外活動センター利用促進事業については、R1年度は新型コロナウイルスの影響もあるが、年々実績が下がっている。他市の好事例なども参考に、利用促進の更なる工夫に期待する。</p>
--

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力など、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府より教職員研修の権限が委譲されました。そのため、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施^①し、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人による研究授業等により、授業改善につなげること^{②③}で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実します^{①②}。

さらに、学習指導要領の改訂を見据え、授業改善や組織運営の改善にかかる「アクティブ・ラーニング」や「カリキュラム・マネジメント」など新しい教育課題に向けた研修にも取り組みます^①。

主要事業の状況

①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	100,100
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。 ◆「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、「経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成」「学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進」「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。 ◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。 ◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度は、平成30年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「Hirakata授業スタンダード」に基づいた授業改善（第2ステージ）、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。 <p>令和元年度は、基本研修を156回、専門研修を90回計246回実施した。</p> <p>また、教育推進プランナーを中心に、経験の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等に1208回の学校訪問を実施した。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
研修を受講した教職員が、その研修内容について、各学校園において会議等で実効的な伝達をしたり、授業等で効果的な実践をしたりした割合 (目標値の根拠) 研修の実質的効果		実績値 (%)	90.04	95.10	95.30
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
		達成割合 (%)	90.04	95.10	95.30

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや高い
	市長公約	平成29年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→
	関連計画	—		

②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	3,635
概要		実績			
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」と、小中一貫教育における各中学校ブロック教科等部会のリーダーを対象とした「教科研究講座」の2つの講座で実施。</p> <p>○授業の達人養成講座（※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する）</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。 教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業（公開授業）を実施。 先進地域、先進校への視察を実施。 <p>○教科研究講座【10部会】</p> <p>国語（小中）、社会（小中）、数学（中）・算数（小）、理科（小中）・生活（小）、英語（中）・外国語活動（小）、音楽（小中）、美術（中）・図画工作（小）、技術/家庭（中）・家庭（小）、保健体育（中）・体育（小）、道徳（小中）</p> <p>◆平成29年度より、授業の達人に特化した事業とし、教科研究講座は、専門研修の枠内での実施とした。</p>		<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施している。</p> <p>令和元年度は、2年継続研修の2年次となるため、受講者の『授業の達人』及び『授業マイスター』認証・認定をめざして実施しており、12回の研修を実施し計7名をマイスターに認定した。</p> <p>研修講座では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習を通して、新学習指導要領に示されている資質・能力を育むための授業実践等についての理解を深めるとともに、受講者相互の実践交流を通して、自身の実践に生かすようにしている。</p> <p>また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めている。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
受講者の出席率 (目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の出席率		実績値 (%)	88.72	82.90	87.0
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
		達成割合 (%)	88.72	82.90	87.0
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや高い	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	—			

③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

基本方策3に対する点検評価員による評価

『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力をもつ教職員の育成をめざして、充実した研修が実施されていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

②授業の達人養成・教科研究事業については、令和元年度は「授業の達人養成講座」の受講者の出席率を目標値の指標としていたが、今後は、養成人数や、研修の内容、認定者の活動状況等の指標を用いることを検討していただきたい。

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめすべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^①とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^①。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②}とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組んでいきます^③。

さらに、支援教育コーディネーターを中心として配慮を要する子どもの支援を行う^{①②}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②}。

主要事業の状況

①	支援教育推進事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	188,676
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ◆教育支援推進室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を加配する。 ◆肢体不自由児介助員を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。 ◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、小倉小学校、長尾小学校、さだ西小学校、第四中学校の4校に専門家を派遣し、指導・助言を行った。 ◆教育支援推進室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。 ◆小・中学校の支援教育の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を全小中学校に加配した。 ◆肢体不自由児介助員19人を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行った。 ◆学校看護師21人(臨時職員)を配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校園における日常生活を支援した。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し、理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施している。併せて支援学級担任に対して、日常訓練の指導・助言を行った。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び令和2年度(2020年度)に新設する支援学級の設備整備を検討した。 			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数		実績値 (回)	439	453	479
(目標値の根拠) 小・中学校専門家、幼稚園巡回相談、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。令和2年度(2020年度)からは、幼稚園巡回相談(323回)は公立保育幼稚園課管轄となる。		目標値 (回)	412	443	468
		達成割合 (%)	106.55	102.26	102.35

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	高い
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	区分の推移	→
	関連計画	—		

②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	4,682
概要		実績			
<p>◆小・中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</p> <p>◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</p>		<p>◆毎日利用の児童・生徒 12 名、雨天時利用の児童・生徒 28 名に対して、支援金を交付している。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
通学タクシーを利用した児童・生徒の人数 (目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数		実績値 (人)	34	36	40
		目標値 (人)	28	33	30
		達成割合 (%)	121.43	109.09	133.33
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	高い	
	市長公約	—			
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	—			

③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	教育研修課
---	-------------------------	-----	-------

基本方策4に対する点検評価員による評価

<p>障害のある子どもをはじめ、全ての子どもたちに充実した教育環境の提供をめざして、支援教育に関する研修のほか、学校看護師や肢体不自由児介助員の配置など、学習環境の整備・充実が図られており、他の自治体のモデルとなる事業を実施することができている。</p> <p>各事業についての意見は、下記のとおりである。</p> <p>①支援教育推進事業については、配慮を要する児童・生徒に対して、きめ細かな支援の充実が図られている。発達障害支援を目的とした専門家の派遣については、ニーズに応じた取り組みに期待する。</p> <p>②通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業については、きめ細かな事業が展開されており、引き続き、一人ひとりのニーズに対応した事業の運営に努めていただきたい。</p>

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加など、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、さまざまな体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことであり、幼児期（幼稚園・保育所・認定こども園）の教育と児童期（小学校）の教育を円滑に接続・連携し、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②③}。

また、保護者の心身のリフレッシュや短時間就労などのニーズへ対応した預かり保育の実施^{④⑤}や、地域の未就園児も含め、親子での遊びの場や保護者交流の場の提供、子育て相談の取り組みの推進^④など、保護者支援を充実させます。

主要事業の状況

①	幼児教育充実事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	6,255
概要			実績			
◆生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼稚園教育において、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを実施するとともに、幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続・連携させるため、小学校教育との繋がりを意識したアプローチカリキュラムの作成や、それを元にした幼小連携のあり方の検討・実践を行う。			◆週ごとに積み上げてきた子ども達の姿を月ごとに見直すなど、どのような援助や環境構成が適切であったのか、日々検証をしながら進めるとともに、園児に多様な体験をする機会を提供するため、地域の自然や公共施設等を活用した授業・遊びを実施した。また、幼稚園と小学校とを円滑に接続させるため、幼稚園と小学校の各教諭が綿密な引き継ぎを行うとともに、小学校教諭の保育参加や小学生との交流（授業参観・休み時間交流・給食交流等）、また、小学校教諭による模擬授業等を実施することで、小学校での生活をよりイメージさせることができた。			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
幼稚園と小学校との円滑な接続に資する事業を実施した園数			実績値 (園)	7	7	7
			目標値 (園)	7	7	7
			達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価 区分	高い		
	市長公約	—		区分の 推移	→	
	実行計画	—				
	関連計画	—				

②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
---	-----------------------	-----	-------------------

③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
---	------------------------------	-----	-------------------

④ 幼稚園保護者支援充実事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	80,759	
概要		実績				
◆国の「子ども・子育て支援新制度」を踏まえ、保護者の子育て支援及び就労支援を目的として、平成27年度から一時預かりを開始するとともに、令和元年度からは、公立幼稚園6園で預かり保育時間の拡充を行い、午前7時から午後7時まで土曜日と三季休業日も含めた預かり保育の充実を図る。 また、地域の2,3歳の未就園児及び保護者が安心して遊べる場と保護者同士が交流できる場を提供して、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図るため、幼児教育教室事業実施する。		◆預かり保育は延べ1,888日実施し、延べ30,224名が利用している。 幼児教育教室は、延べ470日実施し、延べ4,739名が利用している。				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率 (目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%		実績値(%)	100.00	100.00	100.00	
		目標値(%)	100.00	100.00	100.00	
		達成割合(%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価区分	高い
	市長公約	—				
	実行計画	—			区分の推移	→
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画				

⑤ 市立幼稚園における3歳児保育実施事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	24,936
概要		実績			
◆平成30年度に改正された「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども(3~5歳児)に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として改めて幼児教育が重要と位置づけられた。そうした中、教育内容の充実を図るため、公立幼稚園(6園)において、令和元年度から新たに3歳児保育を開始するとともに、待機児童対策の一環で1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園(枚方・高陵・蹉跎・田口山幼稚園)については、預かり保育時間を7時~19時に拡充することで、小規模保育事業から公立幼稚園まで切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として実施する。		◆平成31年4月から、市立幼稚園6園(枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山)において3歳児保育を開始した。また、預かり保育時間を拡充(午前7時から9時と午後5時から7時)し、小規模保育事業と同様の開園時間とすることで、小規模保育事業から公立幼稚園まで切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として実施することができた。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
3歳児定員に対する入園児数 (目標値の根拠) 令和元年度3歳児定員		実績値(人)		139	137
		目標値(人)		160	150
		達成割合(%)		86.88	91.33

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価 区分	やや高い
	市長公約	—		
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画	区分の 推移	→
	関連計画	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン 第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

基本方策5に対する点検評価員による評価

幼児教育の充実に向けて、3歳児保育を実施するなど保護者のニーズに応じた事業の推進ができて
いる。

各事業についての意見は、下記の通りである。

①幼児教育充実事業について、交流などの取り組みにより、幼稚園と小学校との接続が円滑に実施
されていることを評価する。今後は、次のステージに向けて、より具体的な幼少連携事業の指標を検
討するなど、新たな目標を設定してみてもどうかと考える。

基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクールなど学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。

主要事業の状況

①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	3,167	
概要		実績				
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次に設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取り組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。		◆45校中27校においてコミュニティ・スクールを設置した。				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合 (目標値の根拠) 強い肯定的回答の割合100%		実績値 (%)		100.00	100.00	
		目標値 (%)		100.00	100.00	
		達成割合 (%)		100.00	100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	高い
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			区分の推移	→
	関連計画	—				

基本方策6に対する点検評価員による評価

コミュニティ・スクールの事業対象校においては、学校図書館の整備・充実、地域人材による学習支援、登下校の見守りなど、地域コミュニティの活発な活動の様子がうかがえる。この一年間で実施校数も5校から27校に拡大しており、市内の全小学校をコミュニティ・スクールにするにあたって順調に事業が実施されている。

今後も、学校運営協議会の機能を生かし、地域とともにある学校づくりを推進していただきたい。

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境などさまざまな理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりについては、オートロックや機械警備などによる学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携、防犯カメラなどによる通学路の安全対策^②の強化、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^②とともに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^②。

安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりについては、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、相談体制を充実させる^{③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩}とともに、学校においては、生徒指導体制の充実を図り^⑥、いじめの未然防止や早期発見^{⑥⑦}、不登校児童・生徒への支援に取り組みます^{⑧⑨}。

また、貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や、児童虐待について、中央子ども家庭センターや子ども総合相談センターなど関係機関との連携を強化します^{⑦⑩}。

主要事業の状況

①	小学校安全監視事業	担当課	学校安全課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	31,291	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等機器などの修繕等を必要に応じて行っている。令和元年度（2019年度）においては、平成21年度に設置した小学校正門の監視カメラ（24校・24台）のうち21校（21台）の監視カメラを更新した（3校については更新済）。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけでなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持している。 				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
児童在校中の小学校への不審者の侵入件数 (目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし		実績値 (件)	0	0	0	
		目標値 (件)	0	0	0	
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価 区分	高い
	市長公約	—				
	実行計画	—			区分の 推移	→
	関連計画	—				

②	通学路等安全対策事業		担当課	学校安全課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	28,382
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取り組み、交通専従員、交通指導員の効率的・効果的な配置を行う。 ◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。 ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ◆学校園においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ◆小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ◆小学校において防災キャンプを実施する。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校18校(30箇所)に59人の交通専従員・交通指導員を配置し、児童の登下校の安全確保を図っている。 ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所について、学校安全課で集約し、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議を進めている。5月に菅原東小学校区、9月に香里小学校区にて合同点検を行った。 ◆市として統一した地震発生の対応及び大雨警報等発表時の対応を策定し、各学校園ではその内容も含めて策定した危機管理マニュアルに基づき、実践的な避難訓練を実施している。 ◆各学校において、交通安全教室及び救命講習を実践している。 ◆防災キャンプは菅原小学校(8月31日)、津田南小学校(9月5日)、枚方第二小学校(1月25日)で実施。 ◆各学校園において、メール配信システムを活用し、緊急の情報等を保護者に提供している。 ◆登下校見守りサービスの導入を検討した。 			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。) (実績値)配置人数 (目標値)前年度実績 (達成割合)配置人数に対する削減割合			実績値 (人)	58	57	59
			目標値 (人)	55	58	57
			達成割合 (%)	94.55	101.72	94.69
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価 区分	やや高い		
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の 推移	↓		
	関連計画	—				

③	「心の教室相談員」配置事業		担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	9,446
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。 ◆相談員を、児童数に応じて、1校につき年間20回～35回派遣する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆全45小学校に「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員の助言を行った。 ◆相談員を児童数に応じて、1校につき33～37回程度派遣した。 			

実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
心の教室相談員の年間総配置回数 (目標値の根拠) 小学校1校あたりの平均配置回数を36回とする。(H29・H30年度は1校あたりの平均配置回数を31回としている。) ※45(校)×31(回)	実績値(回)		1,360	1,373	1,631
	目標値(回)		1,395	1,395	1,620
	達成割合(%)		97.49	98.42	100.68
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	高い	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	↑	
	関連計画	—			

④	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	教育支援推進室	事業費計(千円) ※人件費を含む	1,214
概要		実績			
<p>○スクールアドバイザーの業務</p> <p>◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。</p> <p>○スクールアドバイザーとして派遣する者</p> <p>◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、教育支援推進室が依頼した者</p>		◆令和元年度は、11校(小学校8校、中学校3校)に延べ21回アドバイザーを派遣している。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 (目標値の根拠) 派遣要請に対して、実際に派遣した割合が100%。	実績値(回)		28/28	32/32	21/21
	目標値(%)		100.00	100.00	100.00
	達成割合(%)		100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	高い	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	—			

⑤	教育相談事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	21,413	
概要		実績				
<p>○子どもの笑顔を守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン)</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00)</p> <p>○継続教育相談</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金)</p> <p>○メンタルヘルス相談</p> <p>◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月・金の午後)</p>		<p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス電話相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に対応した。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
<p>電話、来館による年間相談延べ件数(子どもの笑顔を守るコール+教育文化センター内での継続教育相談+教育文化センター内でのメンタルヘルス相談)</p> <p>(目標値の根拠) 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績</p>		実績値 (件)	1,902	1,888	1,840	
		目標値 (件)	1,723	1,902	1,883	
		達成割合 (%)	110.39	99.26	97.72	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	やや高い
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	→
	関連計画	—				

⑥	生徒指導充実事業	担当課	教職員課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	24,936
概要		実績			
<p>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>		<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和元年度(2019年度)は中学校8校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、1校には非常勤講師1人を配置している。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ適切に指導を行った。加えて、年度当初及び夏季休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)(体罰防止編)等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めた。</p> <p>◆加配講師(任期付講師)配置校 令和元年度(2019年度) 第三中、第四中、中宮中、招提中、桜丘中、さだ中、招提北中。楠葉西中(非常勤)</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
<p>任期付講師配置校における暴力行為の発生件数</p> <p>(目標値の根拠) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少</p> <p>※R1年度の発生件数は、暫定値</p>		実績値 (件)	57	48	31
		目標値 (件)	56	51	43
		達成割合 (%)	98.20	105.88	127.91

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	高い
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	区分の推移	→
	関連計画	—		

⑦	いじめ問題対策事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	15,956
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を年3回開催する。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。 ◆ 幼児対象人形劇の実施（「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の取り組みの一つ） ◆ ひらかた学校支援チーム；弁護士、心理・福祉の専門家、校長経験者等で構成する支援チームが学校園を巡回し、幼児・児童・生徒の様子や学校園の状況を確認、助言を行う。 ◆ 「ストップ！いじめ」全小・中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付。 ◆ 枚方市いじめ防止基本方針の改定及び概要版の作成・配付。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を5月31日、10月18日、2月14日に開催した。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会は、臨時審議会を7月3日に定例審議会を11月5日、1月17日の2回実施した。 ◆ いじめの未然防止のための幼児対象人形劇は、希望24施設のうち8施設において10月から12月に10公演実施した。 ◆ ひらかた学校支援チームで学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行った。 ◆ 家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ！いじめ」を4月、小・中学校の新入生保護者に配付した。 ◆ 枚方市いじめ防止基本方針に基づき、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。 ◆ 各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んだ。 ◆ 枚方市いじめ防止基本方針の概要版を作成し、関係機関、関係各課、小中学校に配付した。 			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
認知したいじめの解消率 (目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。		実績値 (%)	80.20	80.60	99.65
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
		達成割合 (%)	80.20	80.60	99.65
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや高い	
	市長公約	平成 28・29・30 年度市政運営方針			
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	—			

⑧	不登校児童・生徒支援事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	16,947	
概要		実績				
<p>◆枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。</p> <p>◆月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。</p>		<p>◆不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行った。</p> <p>◆市内全中学校と7小学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行った。</p> <p>◆新たな不登校を生まない取り組みとして、生徒指導主事や子ども支援コーディネーターと連携して情報共有を図った。</p> <p>◆枚方市不登校支援協力員連絡会を年間2回実施した。</p> <p>◆枚方市小・中学校生徒指導連絡会を年間11回開催予定であり、各回において小・中学校間連絡会を実施した(3月は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
市内全中学校における不登校出現率(5月1日現在の全中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上合計) (目標値の根拠) 目標値の設定は、公表されている府の公立中学校過去5年の不登校出現率の平均		実績値(%)	3.72	4.23	4.54	
		目標値(%)	3.26	3.36	4.00	
		達成割合(%)	87.63	74.11	86.50	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	やや高い
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	↑
	関連計画	—				

⑨	適応指導教室事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	15,744
概要		実績			
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等学校復帰を含めた自立のための指導・支援を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>		<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、キャンプ、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行った。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施した。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、6日間、延べ11名が参加した。</p> <p>①令和元年(2019年)10月29日～31日の3日間 ②令和2年(2020年)2月4日～6日の3日間</p>			

実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
適応指導教室「ルポ」への入室基準を満たし、 登室を承認された児童・生徒が、登室した割合 ※令和元年度の適応指導教室「ルポ」児童・生徒数は40人。 (目標値の根拠) 「ルポ」への登室100%	実績値 (%)		76.10	77.70	87.50
	目標値 (%)		100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)		76.10	77.70	87.50
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや高い	
	市長公約				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	↑	
	関連計画	—			

⑩	スクールソーシャルワーカー (SSW) 活用事業	担当課	教育支援推進室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	7,559
概要			実績		
<ul style="list-style-type: none"> ◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法のアドバイス ◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ◆学校と関係機関等との連携のコーディネート ◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携 ◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ◆枚方市教育委員会が開催する研修会、連絡会等への参加 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへの指導助言 ◆その他、教育長が認める事項に関すること 			<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉士の資格を有するより専門性の高いSSWを増員するなど、全体の構成や活動回数の見直しを行った。 ◆7中学校区に社会福祉士の資格を有するSSWを1人ずつ配置した。また、同じく社会福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー1人が、7人のSSWに対し指導・助言を行った。 ◆社会福祉士の資格を有するSSWを配置または派遣した学校において、校内または拡大ケース会議のファシリテーションや福祉的手法を助言した。この中で、関係機関やSC等とも連携した。 ◆枚方市教育委員会が開催している連絡会等を6回実施した。 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへのスーパーバイズを実施した。 		
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
スクールソーシャルワーカー等の活動回数 (目標値の根拠) SSW・SV 12回、SSW9人×55回 ※2021年度からは子どもの育ち見守りセンター管轄となる。		実績値 (回)	1,007	868	369
		目標値 (回)	1,022	932	507
		達成割合 (%)	98.53	93.13	72.78
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや低い	
	市長公約				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	↓	
	関連計画	—			

未達成事業への対応

	事業名	未達成理由	今後の方向性
⑩	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	スクールソーシャルワーカーが当初少なかったため、学校への派遣が少なかったことが要因の一つである。2月に10人体制となったが、新型コロナウイルス感染症対策で休校となり、派遣できなかった。	今後も、社会福祉士の資格を有する専門性の高いスクールソーシャルワーカーを活用できるよう取り組む。（令和2年度（2020年度）は、子どもの育ち見守りセンターと教育支援推進室で共同実施）

基本方策7に対する点検評価員による評価

<p>いじめや不登校などの学校生活における課題に対応した事業や生徒指導の充実を図っており、安全で安心して学べる環境づくりの推進に向け、事業が進められている。</p> <p>各事業についての意見は、下記のとおりである。</p> <p>②通学路等安全対策事業について、近年の子どもが犠牲になる事故の教訓を受け、警察等との連携にも取り組まれているが、点検結果等を踏まえた更なる改善にも取り組まれない。</p> <p>⑥生徒指導充実事業について、暴力事件の発生件数が年々減少している点から、着実に成果を上げていると感じる。引き続き、生徒一人ひとりに対してきめ細やかな指導を続けていただきたい。</p> <p>⑦不登校児童・生徒支援事業については、不登校児童・生徒の発生率が増加傾向であることを懸念している。児童・生徒の相談窓口や居場所づくりに向けて、引き続き取り組みの推進に努めていただきたい。</p>

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進など、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進んでいることから、学校施設を計画的に更新整備します^{①②}。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。

また、ICT（情報通信技術）を効果的に活用したわかりやすく深まる授業を実現するため、子どもが授業で使うICT機器を計画的に更新するなど教育の情報化を推進します^④。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑤とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持など勤務環境の整備に取り組みます。

安全で安心な給食を安定的に提供する^{⑥⑦}ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑧。

主要事業の状況

①	学校園施設維持補修事業	担当課	まなび舎整備室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	2,507,687	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市市有建築物保全計画」（以下「保全計画」とする。）に基づき校舎、園舎、体育館等の建物や電気・機械・給排水設備等施設全般の維持保全及び予防保全工事を行う。 ◆プール施設など、保全計画外の改修工事を行う。 ◆学校園からの要望に基づき学習環境の改善等に伴う施設の整備を行う。 ◆各施設の建築物・設備などの点検業務等を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市市有建築物保全計画（平成23年4月）」（以下「保全計画」という。）に基づく工事を44件（内6件はトイレ改造工事と同時に実施）、保全計画以外の工事を21件（内緊急工事9件）行った。また、学校園からの要望により、漏水修理や教室扉修理など修繕工事を小学校213件、中学校108件行った。2件（内1件は、トイレ改造と同時に実施予定分）の保全計画については、入札不調等で実施できなかった。 ◆ドライ方式への改造や多目的トイレの整備を行うトイレ改造工事を、小学校で7件（内5件は保全工事と同時に実施）、中学校で2件（内1件は保全工事と同時に実施）実施した。1件の中学校トイレ改造工事（保全工事と同時に実施予定分）については、入札不調により実施できなかった。令和2年度からは、令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレ整備を進める。 				
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
保全計画等の工事施工件数 (目標値の根拠) 保全計画等の施工予定件数		実績値 (件)	79	43	68	
		目標値 (件)	81	45	52	
		達成割合 (%)	98.00	95.55	130.77	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価区分	高い
	市長公約	平成30年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	↑
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画				

②	学校施設整備事業	担当課	まなび舎整備室	事業費計 (千円) ※人件費を含む	1,624,325
概要		実績			
<p>◆平成 25 年 3 月に、国から「学校施設の老朽化対策について(学校施設老朽化対策ビジョン)」が公表された。同ビジョンにおいては、「昭和 40 年台後半から 50 年代にかけて日本全国で多くの学校建設がなされ、施設の更新時期を迎えつつある中、安全面・機能面・環境面・財政面から老朽化対策が必要である。従来は建築後 40 年程度で改築されていたが、技術的に構造躯体の延命は可能であることから、改築より費用面・環境面の負担が少なく、改築と同様の質的向上が図れる長寿命化改修へと転換することが必要である。」旨が述べられている。</p> <p>◆本市においても、多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進行してきており、将来的な施設耐用年数の到来に伴い、多額の費用を要する施設の更新が一定期間に集中することから、本市財政への影響が懸念される。今後、財政負担の平準化やコストの縮減を図りつつ、時代のニーズに適した教育環境の質的向上等に向けた学校施設へ更新していくためには、計画的な施設整備を図っていく必要があることから、国の「学校施設老朽化対策ビジョン」を踏まえた、学校施設整備に関する中長期的な計画の策定に取り組むものである。その後、策定した計画に基づき、学校施設の更新を順次図っていく。</p>		<p>◆「枚方市学校施設整備計画(第 1 期実施計画(前期)平成 27～平成 32 年度)」に基づき、香里小学校・第一中学校・津田中学校の長寿命化改修工事を実施した。第一中学校は工事を完了し、津田中学校は仮設校舎の供用を開始し、工事に着手した。</p> <p>◆学校施設整備計画にトイレ整備事業および「保全計画」を一元化した「枚方市学校整備計画」を令和 2 年 3 月に策定し、令和 2 年度からは、本計画に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全の推進に向けて取り組みを進める。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
基本設計・実施設計を実施した学校数 (目標値の根拠) 枚方市学校施設整備計画の第 1 期実施計画(前期)の整備校数		実績値(校)	4	5	5
		目標値(校)	5	5	5
		達成割合(%)	80.00	100.00	100.00
関連計画	第 5 次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価区分	高い
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針			
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		区分の推移	→
	関連計画	枚方市学校施設整備計画			

③	学校規模等適正化事業	担当課	学校安全課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	31,948
概要		実績			
<p>◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取り組みを進める。</p>		<p>◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて理解と協力を得るため保護者や地域コミュニティと協議等を行っている。</p> <p>◆樟葉小学校の教室数不足に係る課題解消のため、保護者や地域コミュニティと協議を行っている。</p>			

実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
実施プランの策定 (目標値の根拠) 実施プラン策定に関する実績	実績値 (%)		133.33	0.00	0.00
	目標値 (%)		100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)		133.33	0.00	0.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	低い	
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	—			

④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	---------------------------	-----	-------

⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	23,637
概要		実績			
◆校務支援システムを導入し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。		◆校務支援システムの円滑な運営のため、校内システム担当者を中心に、新転任者等にも研修を実施し、操作等の習熟に努めた。 ◆校内情報セキュリティ担当者に対し、個人情報の取り扱い等について研修を実施するとともに、各校で情報セキュリティ研修を行い、セキュリティに対する教職員の理解を深めた。 ◆システム更新に向けての関係各課での協議を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
教職員向けのアンケート調査において、通知表の作成事務にかかる時間が5時間未満の割合		実績値 (%)	25.60	22.30	24.30
(目標値の根拠) 導入当初に設定した目標(教員の4人に1人がシステム導入以前の平均時間である10時間の半分以下の時間数を基準として設定)		目標値 (%)	25.00	25.00	25.00
		達成割合 (%)	102.40	89.20	97.20
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや高い	
	市長公約	—			
	実行計画	—	区分の推移	→	
	関連計画	—			

⑥	学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	1,256,783
概要		実績			
<p>◆全小学校の児童を対象に、5箇所共同調理場及び25箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。</p>		<p>◆児童・生徒の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童・生徒へ提供できている。</p> <p>◆児童生徒数の減少傾向と新型コロナウイルス感染症対策で3月が臨時休校となり、提供した食数が減少している。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
小・中学校給食提供食数 (目標値の根拠) 年間の給食提供食数。 小学校は、 (1学期始業式現在の児童、教職員数) ×平均給食実施日数 中学校は、 全生徒数×目標喫食率×平均給食実施日数		実績値 (%)	4,923,900	4,861,772	4,441,098
		目標値 (%)	5,000,549	5,060,892	5,051,155
		達成割合 (%)	98.47	96.07	87.92
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価区分	やや高い
	市長公約	—			
	実行計画	—		区分の推移	→
	関連計画	—			

⑦	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	12,026
概要		実績			
<p>◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員給食への拡充を目指す。</p>		<p>◆選択制での中学校給食の喫食率については、各中学校やPTAと連携した取り組みや「第2回枚方市学校給食コンテスト」、「中学校給食チャレンジデー」の実施等、目標喫食率確保に向けた取り組みを進めた。喫食率は、平成28年度25.7%から令和2年2月で34.1%に向上している。</p> <p>◆一方で、市長公約である全員給食の実現に向け、手法の精査及び事業費の算定を行い中学校全員給食モデル事業など計画策定を進めた。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
中学校給食の喫食率 (目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率		実績値 (%)	32.20	32.80	33.50
		目標値 (%)	40.00	45.00	50.00
		達成割合 (%)	80.50	72.89	67.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや低い
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針、令和元年度所信表明		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	区分の推移	→
	関連計画	—		

⑧	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	640,637
概要		実績			
◆第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6箇所を共同調理場又は親子方式調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。		◆桜丘北学校給食共同調理場については、令和元年8月1日付けで供用を開始している。春日学校給食共同調理場工事は年度内に完成し、令和2年4月から供用開始した。また、さだ西・藤阪学校給食共同調理場は、令和2年度2学期の供用開始に向けて工事を進めた。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
供用開始した調理場数 (目標値の根拠) 当該年度中に供用開始する予定の調理場数 ※上記の指標に、H30年度より変更		実績値 (場数)	0	2	1
		目標値 (場数)	0	2	2
		達成割合 (%)	0.00	100.00	50.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価区分	やや低い	
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針			
	実行計画	平成 29 年度当初実行計画	区分の推移	↓	
	関連計画	—			

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
③ 学校規模適正化事業	地域・保護者と協議し、コロナウイルス感染症拡大防止のため説明会等を延期したため。	今後も引き続き、保護者や地域等の理解と協力を得ながら、「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定し、学校規模等適正化の進め方について、地域・保護者と協議を行う。
⑦ 中学校給食充実事業	学校別の喫食率では、50%超から20%未満までバラつきがあり、多くの生徒が給食を選択しない理由として、友達関係や申込の煩雑さなどで給食を選択するかどうか、影響していることもあり本来目標としていた数値に届かなかった。	更なる取り組みとして、中学校間で喫食率に50%超から20%未満までバラつきがあるため、学校の状況に応じた喫食率向上に向けた取り組みを行い、当面、喫食率50%を目標に取り組む。
⑧ 第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	春日小学校が共同調理場が完成したが厨房機器等設置に時間を要し、令和2年4月から供用開始としたため。	老朽対策事業は、さだ西・藤阪共同調理場が令和2年度8月供用開始することで完了する。

基本方策 8 に対する点検評価員による評価

学校園の施設整備や I C T 環境の整備、学校給食環境の整備などについては、概ね円滑に実施できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑤校務の情報化推進事業について、学習指導要領の改訂に伴う、学校現場の業務状況も考慮した指標の見直しを検討されてはどうか。

⑦中学校給食充実事業について、毎年、実績値が上がっているにもかかわらず、目標値も上がっているため、達成割合が減少傾向にある。目標値は一定にした方が、経年の推移が把握できると思われるので、検討すべきと考える。

基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題など、様々な課題に関する学習機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^①。

図書館においては、資料の計画的・系統的な収集など^②の基礎的な図書館サービスを充実するとともに、居心地の良い図書館空間の提供^{③④}と図書館内外への積極的な情報提供などにより、市民の生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための支援を強化します^{⑤⑥⑦}。

また、読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館の支援を強化する^⑧とともに、子どもの読書活動の推進のための取り組みや、成人の読書習慣と情報活用能力の向上に取り組みます^{⑨⑩⑪⑫}。

主要事業の状況

①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	12,511
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。 ◆家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、“気づき”を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。 ◆社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座を開催する。 		<p>令和元年度は、『地域と生きる、地域で生きる』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会教育基礎講座は、「元気なうちに『終活』を始めませんか？～『エンディングノート』について～」に70人（定員80人）、「元気なうちに『終活』を始めませんか？～『生前整理・生前契約』について～」に72人（定員80人）の参加があった。 ◆家庭教育支援事業は、「子育て応援！親学び講座」（計3回）に計23人（定員計43人）、「親子で間ばつ材でブローチづくり～枚方の自然 里山・穂谷をもっと知ろう！～」に16人（定員30人）、「思春期の『SOS』を見逃さないで！」に51人（定員60人）の参加があった。なお、開催を予定していた『『お金』をとおして、自立的な子育てをしませんか？』、「親子のコミュニケーションマジック講座！～今日から親子でマジシャンになろう～」については、新型コロナウイルスの影響により開催を中止した。 ◆社会教育人権啓発事業として開催を予定していた『『大阪のおばちゃん』のスーパーコミュニケーション術！～まあい関係が何よりおトク！～』については、新型コロナウイルスの影響により開催を中止した。 ◆枚方市教育委員会と枚方市PTA協議会との共催事業「共育-共に育つということ-」に102人（定員200人）の参加があった。 			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合 (目標値の根拠) 参加割合の目標値を80%とする		実績値(%)	81.60	97.43	67.75
		目標値(%)	80.00	80.00	80.00
		達成割合(%)	102.00	121.79	84.69

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	やや高い
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の推移	↓
	関連計画	—		

②	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	131,744
概要		実績			
◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。		◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施した。 ◆図書館の蔵書となる図書を児童書 13,005 冊、一般書 25,239 冊、合計 38,244 冊購入した。			
実績値及び目標の説明		年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度
図書購入冊数 (目標値の根拠) 平成 24 年度～平成 26 年度の図書購入冊数の平均		実績値 (冊)	36,370	38,093	38,244
		目標値 (冊)	36,000	36,000	36,000
		達成割合 (%)	101.03	105.14	106.23
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	高い	
	市長公約	—			
	実行計画	—	区分の推移	→	
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

③	香里ヶ丘図書館建替事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	391,528
概要		実績			
◆平成 29 年度に解体・基本設計を完成し、現香里ヶ丘図書館を閉館する。平成 30 年度から現図書館を解体し、香里ヶ丘中央公園の擁壁工事完了後、図書館建物を建設する。		◆令和 2 年 7 月の開館に向け、建物建設工事を行った。 ◆南部生涯学習市民センターに設置した香里ヶ丘図書館代替サービススポットで引き続き予約受け取りサービスを実施した。また、香里ヶ丘中央公園にて自動車文庫による巡回貸出を隔週で行った。			

実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
香里ヶ丘図書館建替事業期間(平成28年4月1日～令和2年3月31日)における、事業の進捗割合 (目標値の根拠) 事業完了を100%とし、完了予定である令和元年度までの4年間で割った数値	実績値(%)		50.00	75.00	100.00
	目標値(%)		50.00	75.00	100.00
	達成割合(%)		100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	高い	
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度12月補正実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

④	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費計(千円) ※人件費を含む	15,099
概要			実績		
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。			◆図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。		
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
分館・分室の巡回日数 (目標値の根拠) 令和元年度当初に予定していた年間巡回回数	実績値(日)		302	499	499
	目標値(日)		302	500	499
	達成割合(%)		100.00	99.80	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	高い	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	↗	
	関連計画	—			

⑤	コンピュータシステム運営事業		担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	25,464
概要			実績			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。			◆7月に7分室の端末更新、8月に学校図書館児童生徒用端末更新を行った。 ◆令和元年度、UPS（無停電電源装置）バッテリー交換の手続きを進めた。 ◆令和2年度に行う、学校図書館先生用端末及び分館インターネット端末の更新に向けて手続きを進めた。 ◆令和3年度に行う図書館システムリプレイスに向けて、引き続き検討した。			
績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
インターネット予約件数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度のインターネット予約件数の平均		実績値 (件)	497,594	532,163	526,503	
		目標値 (件)	580,000	580,000	580,000	
		達成割合 (%)	85.79	91.75	90.78	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			評価区分	やや高い
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			区分の推移	→
	関連計画	—				

⑥	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

⑦	中央図書館運営事業		担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	198,851
概要			実績			
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。			◆年間開館日数：294日 貸出冊数（個人）：834,948冊 予約受付件数（個人）：67,692件 延べ利用者数：299,644人 ◆枚方市こども夢基金を活用して、「子ども・未来ラボ～宇宙の学校」と「鉄道おもちゃの世界」を開催。宇宙や科学の家庭学習とスクーリングを継続して行う「宇宙の学校」と、プラレールを使って再現した京阪路線の展示、ワークショップなどを行った。 ◆ボランティア養成のため「紙芝居を演じてみよう！紙芝居ボランティア養成講座」を開催した。 ◆成人対象のイベントとして、「大人の学校」やライブラリーコンサートなどのイベントを開催した。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度	
市民一人あたりの枚方市内図書館での年間総貸出冊数 (目標値の根拠) 対前年度比向上 ※上記の指標に、R1年度より変更		実績値 (冊/人)	8.55	8.45	8.33	
		目標値 (冊/人)	8.42	8.55	8.45	
		達成割合 (%)	101.54	98.83	98.58	

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	やや高い
	市長公約	—		
	実行計画	—	区分の推移	→
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン		

⑧	生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円) ※人件費を含む	282,269
概要		実績			
◆市民サービスの向上と、施設の効率的な運営の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館6館に指定管理者制度を導入する。		◆引き続き6分館で指定管理者による効率的・効果的な運営を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
指定管理者制度により運営する施設数 (目標値の根拠) 当該年度に指定管理者制度により運営を予定している施設数		実績値 (施設)	2	6	6
		目標値 (施設)	2	6	6
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価区分	高い	
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→	
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

基本方策9に対する点検評価員による評価

<p>香里ヶ丘図書館の建替えや、社会教育分野等における取り組みにより、市民の学習機会の提供の工夫が行われており、概ね円滑に事業実施できている。</p> <p>各事業についての意見は、下記のとおりである。</p> <p>⑦中央図書館運営事業について、基本方策1の⑦読書活動推進事業を活用し、学校図書館との連携を通じて、子どもの読書活動を推進していただきたい。</p>
--

基本方策 10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、人生を豊かにすることができるようにするためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。

さらに、社会の高齢化が進む中で、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動など、様々な体験ができる機会を確保します^{①②}。

このような機会を提供することで、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備^②に努めます。

また、文化財等の適切な保存を進める^{③④}とともに、特別史跡百済寺跡などの貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^{⑤⑥}とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動の充実^{⑦⑧⑨}やスポーツ環境の整備に取り組むとともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^{⑦⑧⑨}。

主要事業の状況

①	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課
---	-----------------------------	-----	---------

②	文化財啓発普及事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
---	------------------------	-----	------

③	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	11,935
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財取蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。 ◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。 ◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施 ◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆茄子作遺跡、藤田山遺跡、蹉跎東文化財取蔵庫、伝王仁墓等で、草刈りや樹木の剪定を年2回行った。 ◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査により出土した遺物の整理・復元等を行っている。今年度については保存科学処理を61件行った。 ◆枚方田中邸のむくの樹勢回復のため、管理計画に基づき、土壌改良等の作業を行った。 			

実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%)			実績値 (%)	100.00	100.00	100.00
			目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
			達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価 区分	高い		
	市長公約	—				
	実行計画	—	区分の 推移	→		
	関連計画	—				

④	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	3,444	
概要			実績			
<p>◆市指定文化財においては、建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。</p> <p>◆令和元年度から有形文化財1件増。</p>			<p>◆廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財及び記念物11件の交付申請を受理し補助金を交付した。(交付額340千円)</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数 (目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数			実績値 (件)	13	17	14
			目標値 (件)	13	13	14
			達成割合 (%)	100.00	130.77	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価 区分	高い		
	市長公約	—				
	実行計画	—	区分の 推移	→		
	関連計画	—				

⑤	特別史跡百済寺跡再整備事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	107,090
概要			実績			
<p>◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。</p> <p>◆単年度計画事業としては目標を達成しているが、再整備計画に基づき平成30年度に事業完了としていた全体目標からは遅れが生じていることから、スケジュールを見直した上で事業完了に向け取り組む。</p>			<p>◆令和元年度は南門の礎石レプリカの設置と、堂塔院内の土系舗装や張芝を実施した。</p> <p>◆令和5年度を完了年次とするスケジュールの見直しを行った。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
当該年度の事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%) (目標)事業進捗割合の完全実施			実績値(%)	100.00	100.00	100.00
			目標値(%)	100.00	100.00	100.00
			達成割合(%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価区分	高い		
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の推移	→		
	関連計画	—				

⑥	市史編さん年報発行事務		担当課	文化財課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	12,861
概要			実績			
<p>◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。</p>			<p>◆伊加賀スポーツセンター倉庫棟に歴史資料等用のシェルピングを設置している。</p> <p>◆枚方市市史年報第22号を発行した。</p> <p>◆マイクロフィルム紙焼対応を行った。</p> <p>◆市史関連歴史資料等の収集・整理・保存を順次実施した。</p> <p>◆市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に対応した。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
市史関係の照会および市史資料の利用件数 (目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値			実績値(件)	284	230	372
			目標値(件)	315	315	315
			達成割合(%)	90.16	73.02	118.10
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価区分	高い		
	市長公約	—				
	実行計画	—	区分の推移	↗		
	関連計画	—				

⑦	市民スポーツカーニバル開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	1,615
概要			実績			
◆体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター、野外活動センターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施している。			◆10月14日(月・祝)に各指定管理者との共催として実施し、様々なイベントを行った。 ◆野外活動センターでは、市民キャンプフェスティバルを9月15日(日)に開催した。(参加者721人)			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
参加人数 (目標値の根拠) 各施設の昨年度実績			実績値 (人)	2,720	2,685	2,235
			目標値 (人)	2,723	2,720	2,685
			達成割合 (%)	99.89	98.71	83.24
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価 区分	やや高い		
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の 推移	→		
	関連計画	—				

⑧	各種スポーツ大会等開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	40,823
概要			実績			
◆各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。			◆各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施している。 ◆市内高校バレーボール大会を4月28日に実施した(参加者425人)。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して6月16日に実施した(参加者582人)。			
実績値及び目標の説明			年度	H29年度	H30年度	R1年度
各種大会等参加者数 (目標値の根拠) 昨年度実績			実績値 (人)	24,918	22,094	22,560
			目標値 (人)	24,316	24,918	22,094
			達成割合 (%)	102.48	88.67	102.11
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価 区分	高い		
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画	区分の 推移	↗		
	関連計画	—				

⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	16,238
概要		実績			
◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。		◆スポーツ推進計画の具体的施策に基づき各所管部署で実施した平成30年度の事業について、実績の評価を行うよう各課と調整し、10月末に開催された枚方市スポーツ推進審議会にて点検・評価を行った。 ◆連携協定を締結しているパナソニックパンサーズやFCティアモ枚方と協力し、学校園交流事業や市民応援デーを実施した。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
スポーツ活動者数 (目標値の根拠) 昨年度実績		実績値 (人)	1,128,501	1,150,649	1,102,369
		目標値 (人)	1,168,701	1,128,501	1,150,649
		達成割合 (%)	96.56	101.97	95.80
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち		評価 区分	やや高い
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画		区分の 推移	↓
	関連計画	—			

基本方策10に対する点検評価員による評価

文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりに向けて、多くの文化財や施設を活用して、児童・生徒が文化やスポーツ等に親しめる取り組みが推進できている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑥市史編さん年報発行事務について、市史関係の照会および市史資料の利用件数が増加しており、枚方の歴史について効果的に発信されていると考える。引き続き、史料の収集・整理・保存を通じて、市民の歴史に関する要望に応えていただきたい。

その他の主要事業

主要事業の状況

1	児童の放課後対策事業	担当課	放課後子ども課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	15,909
概要		実績			
◆全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、本市の児童の放課後のありかたに関する基本的な考え方や、本市の取り組みの実績等を踏まえ、さらにさまざまな立場からの意見を聴取し、試行的に放課後子ども教室モデル事業を実施する。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。		◆放課後子ども教室モデル事業の第3クールを以下のとおり実施し、実施校に在籍する児童及び保護者のニーズ調査を実施した。 (1) 実施校：市立小学校4校（蹠跽・山田・津田・樟葉北） (2) 実施内容：放課後の校庭・指定専用室・図書室等における児童の活動の安全確保・助言及び教室における体験活動に係る指導・助言 (3) 実施期間・実施日数：令和元年7月22日から令和元年8月24日まで（うち各校23日または25日間実施）。その他、各校プレイベントを2日間実施。 (4) 延べ参加者数：2,500人（4校合計）			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
児童及び保護者へのアンケート調査における放課後子ども教室モデル事業に対する満足度 (目標値の根拠) 満足及びやや満足の割合の目標値を80%とする		実績値 (%)	89.00	87.50	78.80
		目標値 (%)	85.00	80.00	80.00
		達成割合 (%)	104.71	109.38	98.50
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価区分 やや高い
	市長公約	平成29年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			区分の推移 ↓

2	留守家庭児童会室整備事業	担当課	放課後子ども課	事業費計 (千円) ※人件費を含む	88,437
概要		実績			
◆平成29年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行う。		◆平成30年11月から、新築工事に着手した香陽留守家庭児童会室の専用棟について、令和元年7月22日から供用を開始した。 ◆また、年度当初に待機が見込まれる児童会室については各小学校と協議のうえ、余裕教室を借用するなど待機児童対策に努めた。			
実績値及び目標の説明		年度	H29年度	H30年度	R1年度
留守家庭児童会室建替等件数 (目標値の根拠) 留守家庭児童会室施設整備計画のとおり		実績値 (件)	2	0.50	0.50
		目標値 (件)	2	1	0.50
		達成割合 (%)	100.00	50.00	100.00

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価 区分	高い
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画	区分の 推移	↑
	関連計画	—		

その他に対する点検評価員による評価

放課後に就学児童が健全かつ安全・安心に過ごせるよう事業運営に努めている状況が伺える。

今後とも、新たに策定された「児童の放課後を豊かにする基本計画」にも基づき、子どもたちの放課後対策を計画的に推進していただきたい。

7. 枚方市教育委員会の令和元年度の活動の概要

枚方市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員により組織される合議制の執行機関であり、その権限に属する教育に関する事務を管理執行しています。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

【教育委員会の構成】

(令和2年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	奈良 涉	平成28年4月1日～令和4年3月31日	平成31年4月1日 再任
教育委員	神田 裕史	平成28年4月1日～令和3年3月31日	平成29年4月1日 再任
教育委員	橋野 陽子	平成28年4月1日～令和6年3月31日	令和2年4月1日 再任
教育委員	谷元 紀之	平成28年9月27日～令和5年3月31日	平成31年4月1日 再任
教育委員	近藤 孝	平成30年4月1日～令和4年3月31日	

(1) 令和元年度教育委員会定例会・臨時会について

教育委員会の会議は、原則として毎月定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。定例会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、枚方市教育委員会会議規則第2条第2項の規定により毎月1回開催する会議です。臨時会とは、同規則第2条第3項の規定により臨時に開催する会議です。

(2) 令和元年度教育委員会協議会について

教育委員会協議会は、枚方市教育委員会会議規則第18条の規定により、委員会の所管事項について、教育長から報告を受ける必要があると認めるとき、又は特定の事項について調査、研究等の必要があると認めるときに開催する会議です。

【令和元年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績及び協議会案件数】

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
平成31年第4回 定例会・協議会	平成31年4月19日	1	5	-	-	-	1	-	-	-	1	5
令和元年第5回 定例会・協議会	令和元年5月29日	1	5	7	-	-	1	-	-	1	9	9
令和元年第6回 定例会・協議会	令和元年6月28日	1	5	6	-	-	1	-	-	-	7	-

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
令和元年第7回 定例会・協議会	令和元年7月25日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	2
令和元年第8回 定例会・協議会	令和元年8月28日	1	5	3	-	-	2	-	-	-	5	6
令和元年第9回 定例会・協議会	令和元年9月25日	1	5	-	-	-	1	-	-	-	1	1
令和元年第10回 定例会・協議会	令和元年10月30日	1	5	2	-	-	1	-	-	1	4	1
令和元年第11回 定例会・協議会	令和元年11月14日	1	5	1	-	-	1	-	-	-	2	5
令和元年第12回 定例会・協議会	令和元年12月20日	1	5	3	-	-	1	-	-	-	4	3
令和2年第1回 定例会・協議会	令和2年1月21日	1	5	-	-	-	1	-	-	1	2	5
協議会のみ	令和2年2月3日	1	5									1
令和2年第2回 定例会・協議会	令和2年2月12日	1	4	6	-	-	1	-	-	-	7	6
令和2年第1回 臨時会	令和2年2月15日	1	4	1	-	-	-	-	-	-	1	
令和2年第3回 定例会・協議会	令和2年3月18日	1	5	11	-	-	2	-	-	-	13	2
令和2年第2回 臨時会	令和2年3月26日	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	

(3) 令和元年度教育委員会の活動状況

	会議・行事等	出席回数		
		H29年度	H30年度	R1年度
①	学校関係（式典、行事等）	19回	17回	21回
②	学校関係（授業視察等）	24回	21回	46回
③	教育委員会関係（式典、会議、行事等）	93回	67回	66回
④	枚方市、市議会、各種団体関係（式典、会議、行事等）	34回	34回	43回
⑤	教育長協議会、会議研修等	16回	29回	20回
⑥	教育委員研修会等	7回	7回	7回
合計		193回	175回	203回